

平成30年度 第1回市長タウンミーティング概要

と き：平成30年4月14日（土）
午後2時～3時30分
ところ：西公民館
参加者：85人

○市長あいさつ

（市長より、平成30年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問(男性)

現在、錦町4丁目に住んでいます。我が家の周辺は区画整理が終わりましたが、住居表示は変更されておらず、住所が同じ家もあって不便です。錦町の区画整理はまだ終わっていませんが、新しい住居表示をある程度の範囲が終わった段階で割り振っていただくことはできないでしょうか。

回答(市長)

新しい住居表示を割り振る時期については、下蔵地区の区画整理のときと同じように、区画整理の終了後に一括して行うこととなります。ご不便をおかけすることもあります。ご理解をいただきたいと思えます。

質問(男性)

錦町4丁目の住宅街の中にフェンスに囲まれた雨水調整池がありますが、子どもの遊び場などに有効利用できないでしょうか。

回答(市長)

雨水調整地は、想定よりも短時間で多量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨による水害への対策として、雨を一時的に貯め、被害の軽減を図るための施設です。ご質問のあった錦町4丁目の第一雨水調整池は暫定的（将来の公園予定地）なもので、区画整理と合わせて進めている雨水用の下水道整備や、富士見公園の野球場の地下に整備を予定している雨水調整池が完備されれば、公園として整備できると思いますが、その時期はまだ未定となっています。

質問(男性)

散歩をしているときに、よく犬の糞を見つけるので、糞害防止条例を制定して啓発を行えば、飼い主の皆さんの意識改革になるのではないのでしょうか。

回答(市長)

糞害については、マナーを地道に啓発していくことがたいせつだと考えており、市でも飼い犬の登録時や狂犬病予防注射の接種時のほか、広報蕨などで周知の取り組みを行っています。また、罰則はありませんが「蕨市さわやか環境条例」では市民の守るべきマナーが規定されていますし、「埼玉県動物の保護及び管理に関する条例」では動物の正しい飼い方が定められていますので、市民の皆さんと協力しながら、これからも粘り強く啓発していきたいと考えています。

質問(女性)

近隣市では、独り暮らしの高齢者の世帯に週に一回、自宅の前までごみを収集に来てくれる制度もあるそうです。蕨市でもぜひ検討してください。

回答(市長)

蕨でも独り暮らしの高齢者の方が増えており、ごみの収集についてのご要望があることは承知しています。実施する場合、収集車が入れない自宅まで取りに行くことも想定され、そのための体制が取れるかななどの課題も多く、現状では隣近所でのご協力や場合によっては介護サービスなどの活用をお願いしながら、市としてはこれからも引き続き対応策を検討していきます。

質問(女性)

ぷらっとわらびの西ルートは、乗り継ぎが不便で市民体育館や市立病院に行きづらいため、改善していただけないのでしょうか。

回答(市長)

ぷらっとわらびについては、利用される方が多く、改善の声も多く寄せられており、私の3期目のマニフェストでもルートの拡充を掲げ、現在検討しているところです。28年度に実施したバスのアンケート結果により、地域ごとにさまざまな課題があることが分かりましたが、特に西ルートは距離が長く、ある地区にお住まいの方にとっては、目的地に行くのに長時間かかったり、乗り継ぎに不都合が生じたりしていますので、逆ルートの設定やルートの分割を要望する声が上がっています。また、他のルートをご利用の皆さんからは市役所や市立病院へのアクセスに対する改善の声をいただいています。来年度には、こうした課題に

対応したルートを実現できるようにしていきたいと考えています。

質問(男性)

蕨駅西口駅前再開発について、市では具体的にどのような方向で事業を進めていこうと考えているのでしょうか。

回答(市長)

蕨駅西口再開発事業については、3期目のマニフェストにおいても「蕨の玄関口にふさわしい蕨駅西口再開発の推進」として掲げており、駅前広場を拡幅整備で新しくきれいにするとともに、魅力的な商業施設や便利な公共公益施設の整備をしていきたいと考えています。こうしたことで、蕨のイメージアップを図るとともに、買い物を通じて賑わいがあふれる駅前になるように、現在、計画作りを進めているところです。完成まではしばらくかかりますが、蕨が活性化する事業となるよう一步一步進めていきます。

質問(女性)

松原会館で毎年行われていた蕎麦組合の皆さんによるお蕎麦のプレゼントが、一昨年からなくなってしまった件で、再開に向けた見通しはいかがでしょうか。地域のお年寄りにとってはささやかながらもたいへん楽しみにしていましたので、ぜひ再開していただきたいです。

回答(市長)

松原会館で長年行われていた埼玉県麺類業生活衛生同業組合蕨支部・蕨麺類業青年会と蕨市社会福祉協議会錦町支部の皆さんによる「善意のおそばプレゼント」は、昨年のタウンミーティングでもご質問があり、再開してほしいとのご意見が寄せられていることを主催者に伝えましたが、会員の高齢化や店舗の減少などで開催は残念ながら難しいとのことでした。この行事は、組合の皆さんのボランティアで長年行われていたものですので、その辺の事情をご理解いただければと思います。

質問(男性)

第二中学校の前でネコが車にはねられていたため、回収を道路公園課にお願いしたところ、担当が異なるので安全安心推進課生活環境係に電話し直してくださいと言われてしまいました。市民としては、同じ役所なので横のつながりで連絡を取り合っていたらいいと思います。

回答(市長)

担当課に直接言わないと正確に伝わらない面もあるので、お手数をおかけしてしまうこともあると思いますが、内容によっては内部で対応することも可能だと思います。今回のような件であれば、なるべく一回の連絡で済むように努めていきたいと思っています。

質問(女性)

ぷらっとわらびのシートが固く、長時間乗っているとお尻が痛くなるため、乗り心地をよくしてほしいです。

回答(市長)

バスの設備については、すぐに改修するのが難しいのですが、先ほど、バスのルートの改善についてのご質問でお答えしましたように、来年度には、皆さんにより利用しやすいルートを実現できるようにしたいと考えています。

質問(女性)

町会の回覧板で拝見しましたがナガミヒナゲシへの対応はどのようにしたらよいのでしょうか。

回答(市長)

ナガミヒナゲシはポピーに似たオレンジ色の花を咲かせる外来種で、見ためはかわいらしい花なのですが、他の植物の栄養を取ってしまう特性がありますので、在来種を一気に駆逐してしまうおそれがあります。

ナガミヒナゲシの情報については、広報蕨4月号やホームページにも掲載していますが、見かけた際には、駆除のご協力をお願いします。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。